
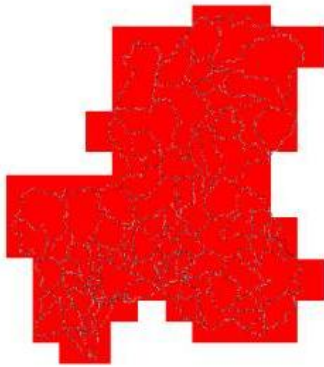


| | | |
|--------------|---|---|
| サルメンエビネ | <i>Calanthe tricarinata</i> Lindl. | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| (環境省:絶滅危惧Ⅱ類) | | ラン科 |
| 選定理由 | 園芸目的の採取圧がある。 | 写真(後藤常明)  |
| 形態の特徴 | 高さは30-50cm。狭長楕円形の葉が3-4枚付く。多数の花を穂状に付ける。萼片、側花弁は黄緑色、唇弁は紫褐色で縁は縮れる。中央に3本のとさか状の突起がある。球形の偽球茎がある。花期は5-6月。 | |
| 生態的特徴 | 山地の主にブナ帯の樹林下に見られる。 |  <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p> |
| 分布状況 | 北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では美濃地方北部と飛騨地方に分布する。 | |
| 減少要因 | 園芸目的の採取による。 | |
| 保全対策 | 採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。 | |
| 特記事項 | 花がサルの顔に似ているので名前が付く。 | |
| 参考文献 | | |

文責:山崎玲子